

教育のひろば

- 正しい教育の推進への寄与
- 学校、家庭、地域の連携の支援
- ところ豊かな子どもの育成

いま、ひろげよう!! 香川に教育の輪

発行所 香川県教育県民会議 760-0004 高松市西宝町2丁目6番40号 香川県教育会館6階601号
 会長 七條正典 事務局 TEL & FAX (087) 833-1483 月・水 9:00~12:00 金 外勤他
 編集発行人 山崎敏和 毎月1回 10日発行 購読料 1部130円 (増頁・送料共)

▶ 香川県教育県民会議設立36周年!! 本会の趣旨に賛同していただける方々の入会をお願いしています。事務局へご連絡いただければ、教育のひろば「入会案内特別号」【設立趣旨・活動内容・入会手続等】をお送りします。▶ (年会費) 正会員 3,000円 特別会員 20,000円 (準特別会員 10,000円) 名誉会員 100,000円以上、他 団体購読制度有。

教育トレンド

12月21日、教職員定数を巡る来年度予算案は、財務相と文科相の大臣折衝にもつれ込んだ結果、学級数で決まる「基礎定数」は4000人減になるが、「加配定数」は525人増で決着した。加配定数の内訳については、小学校での英語や理科、体育の専科指導の充実やアクティブラーニングの推進、いじめ不登校への対応等が考えられている。主旨はありがたいことだが、全国で525人とは、かけ声だけの施策にならないことを期待したい。

今こそ、子ども会に入会しましょう!

子ども会の活性化をめざして



香川県子ども会育成連絡協議会

専門委員 野郷 光宏

一 子ども会加入率が低下傾向

近所や同じ校区の子供たちの異年齢集団である子ども会の加入率が低下しています。少子化が要因かもしれませんが、子供たちは多くの習い事や活動などで忙しく、さらに、保護者も多忙で、子供への関わりが希薄になっていくように思われます。このため、豊かな人間関係づくりが築ける子ども会への入会が減少しているのではないのでしょうか。

二 子ども会活動の有効性

子どもたちに生き抜く力を

子供たちを主役として、異年齢集団で、学校や家庭では味わうことのできないさまざまな体験や交流活動を実践する子ども会活動は、社会適応力や自己判断力、人間関係調整能力など、豊かな人間力の育成に役立つものです。人や社会や自然



(福利り体験活動)

「役員になるのが難しいので、加入しない」という声をよく聞きます。そこで、校区全体で取り組むために、学校管理職やPTA役員さんたちと協議し、PTAと合同の運営組織を結成し、PTA組織内に育成部という新組織を立ちあげた校区があります。PTA組織のなかに、子ども会担当役員を選任し、育成会の支援を図った校区もあります。子供の人数の増減による単位子ども会の編制の工夫も必要です。さらには、男性会員の増員や校区の関係団体との連携・協力を密にすることで運営面が充実し、効果があがります。

② 子供たちを主役にしませう

原点に戻って!! 子供を信じ、まかせることを増やして



(子ども会寺子屋)

いくことも大切です。なるべく、大人の出席を少なくし、企画・運営・準備などを子供にまかせます。もちろん、定期的な行事活動も重要ですが、ときには「子ども会開放」と称して、運動場や体育館を自由に使用し、好きな遊びをしたり、アスリートを招いて、走り方講習会などを開いたりして、成果をあげている校区があります。

③ 大人・育成者が、楽しみませう

保護者の負担を軽減しましょう

どの豊かなふれあい、出会いができ、その中から他者の素晴らしさを発見し、自分の素晴らしさにも気づいていきます。また、さまざまな問題に直面し、関心と興味を深め、解決する力を育てていきます。これからの社会を生き抜いていくための力やなまづくりが醸成できることになりませう。すなわち、体験活動を通して生き方を学んでいくことができます。思い合ったり、助け合ったりする心が自然と育まれてきます。また、トラブルに出会っても、自分やなままたちとうまく解決でき、自信につながっていきます。体験活動をとおして、世の中なんとかなるものだと感じることはこれからの人生において重要でです。

三 子ども会の活性化にむけて

大人同士のふれあい、絆が子ども会活動に好影響を及ぼします。関わっている大人たちが、楽しく笑顔で活動していれば、子供たちも喜んで活動します。大人が、人とのつながりを楽しいと感じさせるよう積極的に関わっていきましょう。

四 子ども会の存在意義を

東南海大地震などの非常変災が、いつ

起こるかもしれません。このような時、子ども会の存在は重要です。避難や救助活動において、子ども会を中心とした近所（近助）の力が大切です。子ども会と自治会との連携が図れます。郷土を愛する子供が育ちます。そのために、子ども会の充実・活性化を図りましょう。

(のこう みつひろ)